

2018 年 2 月 27 日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 後藤 滋樹 殿

2017 年度 DRP 検討委員会
委員長 井上 葵

2017 年度 DRP 検討委員会報告書

以下の通りの検討結果を、2017 年度 DRP 検討委員会の報告書として提出します。

本委員会は、第 121 回理事会（2017 年 11 月 8 日）第 2 号議案の決議に基づく、以下の依頼事項の検討に当たった。

JP-DRP の改善に資する裁定例研究を実施するために、現状の整理、研究方針、実施体制の策定など、裁定例研究の予備検討及び準備を行い、これらに基づく提言を行う。
--

前回 2004 年度～2005 年度にかけて実施した JP-DRP の裁定例検討が行われてから 100 件を超える裁定が出されているため、新たな裁定についての判断傾向を探り、gTLD (UDRP)におけるドメイン名紛争の裁定なども比較しながら要件や判断基準の適否について理論的な検討を行う必要がある。裁定例の研究・検討にあたっては人的リソースが必要であるため、DRP 検討委員会メンバーに加えて、知的財産法などに詳しい弁護士・弁理士 4 名を選定した。この 4 名には準備段階から参画していただくべきと考えたため、検討委員会メンバーを含めて裁定例検討専門家チームを組成し、予備検討を行った（メンバー一覧は次頁に掲載）。

DRP 検討委員会は同専門家チームとともに、研究対象とする裁定例の選定作業を行った。研究対象となる裁定例は、前回検討を行った 2005 年以降のものうち、意見が分かれる可能性があるなど、検討が必要と思われるものを類型化して代表的なものを前回とほぼ同数（16 件）選定した。

検討期間は 1 年間を目途とするが、必要であれば延長することとしたい。裁定例の検討結果については報告書として公開し、必要であれば次年度検討委員会の検討に付することとしたい。

付録：専門家チームメンバー一覧

- 井上 葵（アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士、2016、2017 年度 DRP 検討委員会委員長）
- 卜部 晃史（瓜生・糸賀法律事務所 弁護士、2016、2017 年度 DRP 検討委員会メンバー）
- 早川 吉尚（立教大学教授 弁護士、2003、2006、2007、2010、2011 年度 DRP 検討委員会委員長、2001、2002、2016、2017 年度 DRP 検討委員会メンバー）
- 山口 裕司（大野総合法律事務所 弁護士、2017 年度 DRP 検討委員会メンバー、日本知的財産仲裁センター(JIPAC)運営委員・第三部会（事件管理）部会長）
- 相良 由里子（中村合同特許法律事務所 弁護士・弁理士）
- 中田 裕人（柴田・鈴木・中田法律事務所 弁護士）
- 服部 謙太郎（竹田・服部法律事務所 弁護士・弁理士）
- 山内 貴博（長島・大野・常松法律事務所 弁護士・弁理士、2006、2007、2010、2011 年度 DRP 検討委員会メンバー）